

「悪い時こそ」

(炭素繊維強化プラスチック)

▽: 「低熱膨張合金以外の特殊材料の開発が進んでいる。焼却炉向けの耐腐食合金『EGNI S』(イグニス)は昨年、実機試験が進んだので、今年は販売が進んだ。今年も航空分野の革新材料を開発してきている。焼却炉向けの耐腐食合金『EGNI S』(イグニス)は昨年、実機試験が進んだので、今年も航空分野の革新材料を開発してきている。

▽: 「低熱膨張合金以外の特殊材料の開発が進んでいる。焼却炉向けの耐腐食合金『EGNI S』(イグニス)は昨年、実機試験が進んだので、今年も航空分野の革新材料を開発してきている。

遊歩道

政策に知恵を絞る」と話すのは、新報国製鉄の成瀬正社長。主力の



半導体製造装置・FPD製造装置関連の低熱膨張合金は当面、0~900度の高温域で膨張しにくい合金を開発した。セラミックスやガラスなど低熱膨張の異種材料に熱膨張率を合わせることも可能であり、固体燃料電池(SOFC)部品などで用途開拓を進めていく。

▽: 低熱膨張合金でもCFRP

拓を進めていく。

